

令和3年度

全国衛生管理者協議会総会

議 事 録

1 日 時

令和3年6月11日（金） 13時30分～14時30分

2 場 所

安全衛生総合会館 14階 第3会議室

3 出席者

会 員： 出席 8会員（Web参加7会員を含む） 委任状 37会員 欠席 4会員
計 42会員

役 員： 会長、副会長 計 2名

事務局： 中央労働災害防止協会 5名

4 総会成立の報告

総会成立について、司会（事務局：中災防技術支援部）から次のとおり報告を行った。

現在の会員数42会員のところ、本日の欠席者は4会員であり、全国衛生管理者協議会会則（以下「会則」という。）第12条第3項の総会成立要件である過半数の出席を満たし、令和3年度総会は成立している。

5 開会挨拶

全国衛生管理者協議会の川本俊弘会長から次の開会挨拶を行った。

本日は、ご多忙中のところ全国衛生管理者協議会総会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。平素より会員の皆さまには本協議会の事業運営に対して多大のご理解と、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナ感染は収まるどころを知らず、3回目の緊急事態宣言が東京都はじめ10都道府県に対して、蔓延防止重点措置が8県に対して継続されているところです。このような状況のため、今年度は本総会をオンライン併設開催とさせていただきました。昨年度における書面審議に続き、2年連続でご不便をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。

本日は、会場の方に厚生労働省から労働衛生課の高倉課長様にご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。

本協議会は、衛生管理者に対する労働衛生に係る各種情報の提供や研修会開催等の活動の促進支援等を行いながら、衛生管理者の資質向上を図ると共に、事業場における労働衛生管理体制を充実させることを目的に平成6年に設立され、今年で満27年を迎えることになりました。

これもひとえに会員の皆様と全国の衛生管理者の皆様の本協議会へのあたたかいご理解とご支援の賜物と感謝を申し上げる次第です。

今般、働き方改革やメンタルヘルスをはじめ、最近、問題が大きくなりつつあるハラスメント防止対策など、衛生管理者の活躍の場が拡大かつ多様化、ダイバーシティ化しています。

本協議会では、事業検討委員会を中心に、衛生管理者の能力向上教育のあり方について検討してまいりました。この検討を通して、更なる衛生管理者の資質向上を目指し、事業場における労働衛生管理体制の充実・関わる活動支援に努めていきたいと考えています。

結びに、会員の皆様方のご協力、ご支援をお願いすると共に、会員の皆様方のご発展を祈念いたします。

6 来賓挨拶

厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長の高倉俊二様より来賓の挨拶を次のように頂いた。

本日は全国の皆さまのご参加のもと、全国衛生管理者協議会の総会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、平素より労働衛生行政の推進、更には職場における新型コロナウイルスの感染対策における多大なるご理解とご協力を頂いていることにお礼申し上げます。

さきほど、川本会長からの挨拶にもございましたように産業構造や社会の変化、あるいは政府の掲げる働き方改革の推進などに対応して各労働現場での衛生管理者、衛生担当者の方に期待される役割も変化、多様化、拡大しております。

今般は特に職場における新型コロナウイルス感染症対策の取り組みが求められております。厚生労働省では、職場における新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図りつつ事業を継続いただくために、事業場において特に留意する取り組みの5つのポイントや対策状況について各職場で確認するための職場における感染拡大防止のためのチェックリストを作成し示しています。

これらの活用等によって、職場の実態に即した具体的な感染対策を検討して、労使が一体となって現場の対策に取り組んでいただきますようお願いしてきました。引き続き職場における感染拡大の防止の取り組みにつきまして、今般、職場のクラスターも見いだされるところでもございますので引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。

また、ポストコロナを見据えた新しい働き方の一つとしてテレワークがございます。こちらにつきまして、昨年度、厚生労働省における検討会における報告書がございまして、今年の3月にテレワークの適切な導入および実施の推進のためのガイドラインを改定しま

して、テレワークにおける安全衛生の確保についてもチェックリスト等で留意すべき事項等を示しています。このほか、厚生労働省といたしましては、引き続きTHP、メンタルヘルス対策、仕事と両立支援の強化等多くの課題に取り組んでいきます。しかしながら、各々の現場における課題の取り組みを進め労働衛生を改善、向上させていくには全国の衛生管理者の皆様のご尽力が不可欠でありますし、その活躍が大きな原動力であると考えております。今後とも労働衛生行政に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日ご参加の方をはじめとする全国の衛生管理者の皆さま、関係各位のご活躍とご健勝を祈念いたします。

7 議長選出

会則第12条第2項に基づき、川本会長が議長に選任された。

8 議事録署名人の指名

本総会の議事録署名人として、次の2名が議長から指名された。

議長（全国衛生管理者協議会会長） 川本 俊弘 殿

全国衛生管理者協議会副会長 吉川 智明 殿

9 第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告の承認を求める件

(1) 令和2年度事業報告

事務局長の常盤部長から、次のとおり報告があった。

ア 事業活動の企画、実施

・総会の開催

令和2年5月28日、安全衛生総合会館において開催し、令和元年度事業報告、収支決算、令和2年度事業計画（案）、収支予算（案）等について原案のとおり承認された。

会員の出席は1会員、委任40会員、欠席2会員であった。

・事業検討委員会の開催

事業検討委員会として2回開催（4月の第1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）し、主に全国衛生管理者協議会が個々の衛生管理者に有用な情報や活動を、会員を通してサポートできるか検討を行った。

（開催日）令和2年10月9日 第1回事業検討委員会

令和3年1月15日 第2回事業検討委員会

- ・会員への情報サービスの支援

屋内作業場におけるアーク溶接における防じんマスク選定に関する通達が発出され、衛生管理者

の業務として必要となるチェックシート及びフローチャートの提供を行った。

- ・全国衛生管理者協議会ホームページの構築

安全衛生情報センターの団体ページの移管時に削除されていたホームページを、今般、全国衛生管理者協議会ホームページを中央労働災害防止協会のホームページ中に開設した。

イ 衛生管理者の活動する場づくりの促進

協議会として中央労働災害防止協会への働きかけ及び調整の結果、令和2年度全国産業安全衛生大会（札幌市）の労働衛生管理活動分科会において、パネルディスカッションを行うこととなっていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

ウ 会員の活動に対する援助

会員活動に関する経費として、43 会員中 22 会員に対し 1,092,527 円の援助を行った。

エ 全国衛生管理者情報交流会

全国産業安全衛生大会（札幌市）の中止から全国衛生管理者情報交流会も中止となった。

(2) 令和2年度決算報告

事務局長の常盤部長から、次のとおり報告があった。

全国衛生管理者協議会の活動促進に係る、収入の部は、全額中災防からの活動費援助で 2,321,914 円であった。支出の部は、協議会の運営（総会、事業検討委員会（2回）等の経費）で 134,196 円、協議会会員への援助金として 20 会員に対して 1,092,527 円、合計 1,226,723 円であった。

また、全国衛生管理者情報交流会は中止となり収支は発生していない。

(3) 監査報告

安福監事から、監査報告を行った。

(4) 議案承認

質問、意見等はなく、第1号議案は承認された。

10 第2号議案 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）の審議の件

（1）令和3年度事業計画（案）について

事務局長の常盤部長から、次のとおり説明を行った。

ア 事業活動の企画、実施

全国衛生管理者協議会（以下、「協議会」という）は事業場における労働衛生管理の向上を図るため、引き続き衛生管理者の支援に努めることとする。本事業計画に基づく事業活動の企画、実施は、会員の協力を得て、以下のとおり総会及び協議会事業検討委員会と事務局が連携し適切に実施するものとする。

（1）総会を開催する。（6月上旬）

（2）事業検討委員会を年3回開催する。

（3）衛生管理者の業務拡大から今後の衛生管理者のあり方について全国産業安全衛生大会労働衛生管理活動分科会でパネルディスカッションを行う。

（4）会員が実施する研修会等をホームページで公表、紹介する。

イ 衛生管理者の活動する場づくりの促進

協議会は、中災防主催の全国産業安全衛生大会労働衛生管理活動分科会において、衛生管理者による研究発表等がより多く組み込まれるよう、会員への発表勧奨に努める。

ウ 会員の活動に対する援助

協議会は、会員が各会員傘下の衛生管理者に有用な情報や講演会、教育の開催などに努める。これに要する費用の全部又は一部を援助する。

エ 全国衛生管理者情報交流会

本年度の全国衛生管理者情報交流会は、コロナ禍の収束が見込めないことから中止とする。

（2）令和3年度予算（案）について

事務局から、次のとおり説明を行った。

本年度は全国産業安全衛生大会が中止となるため、全国衛生管理者情報交流会も中止とし、予算は計上しない。

収入の部は、全国衛生管理者協議会の活動促進として、中災防からの援助費が935,000円。支出の部は、協議会の運営費として335,000円、協議会会員への援助として600,000円、合計935,000円の支出の予定である。

なお、本年援助に対する細則を見直したので後ほど報告します。

(3) 議案承認

質問、意見等はなく、第2号議案は承認された。

11 その他（意見、要望等）

議案に対する質問、意見等はなかった。

12 報告

事務局の齋藤次長から、次のとおり報告を行った。

(1) 会員が実施する衛生管理者等を支援するために行う一定の事業に対する経費援助に関する細則の見直しについて

- ・本細則の改定に当たって、幹事会での承認（第13条5項及び第17条）を得ているため総会で報告し、会員へ通知する。

(2) (第80回東京大会) 全国産業安全衛生大会の参加について

〔開催期間：令和3年10月27日（水）～29日（金）〕
〔場 所：東京国際フォーラム〕

- ・全国衛生管理者協議会として、以下の2つの方法で参加する。

① パネルディスカッション

テーマ名：衛生管理者職務のダイバーシティ化と生産性確保を目指して

参加者：司会 川本会長

パネリスト 事業検討委員会 神津委員長、椎野委員、對木委員、田嶋委員

時間：60分

参加方法：ライブ及びWeb配信、1か月間のオンデマンド配信（～11月30日まで）

聞きどころ：

近年、衛生管理者の職務が拡大・多様化され、従来の法律・通達等に示されている表現では、職務内容について職場で共通の認識を得ることが難しいこともある。衛生管理者が事業場の生産性を確保しながら労働者の健康を守るため、何が問題で、何が必要か、専門家による討議を行う。

② Web配信

テーマ名：東京衛生管理者協議会の継続的な研修会開催について

参加者：吉川副会長

時間：30分

参加方法：Web配信（大会～11月30日まで）

発表要旨：東京衛生管理者協議会は、290名の会員で組織され、事務局を東

京労働基準協会連合会に置いている。17年ほど前、低迷していた活動を立て直すため、幹事の再編成が行われ、その後、年に2回の会員向け研修会を継続的に開催し、衛生管理者の活動支援を行っている。

上記のとおり、令和3年度全国衛生管理者協議会総会における議事録として承認する。

令和3年6月22日

議長 川本 俊弘 

議事録署名人 吉川 智明 